



第71回 ー第4章 天才とは真剣に夢を見る人」(その10)ー

★計画を公表してしまえば成功の確率はグンと高くなる

固い信念をもって、自分の意図を表明すれば、あなたは、満足と落胆が入り混じっている荒野から救われる。公表することで、あなたの中に大きな力が湧いてくる。

自分の信ずるところをずばりとぶちまけるのである。そうすればプレッシャーは良い方へ働いてくれる。苦労が増えることはあるが、成功の確率は高くなる。

無駄な苦労を減らすためには、計画を打ち明ける相手を、積極的な素直な人に限るのが賢明である。注意しても、必ず反対する人や、否定的な人が出てくることは覚悟しておかねばならない。

消極的な人たちは手の付けられないどうしようもない連中ばかりである。

しかし… **着想はひとたび言葉となって発せられると、生気を帯びてくる。**

語られた言葉には信じられないほど創造的な力が宿るものである。

夢を放棄しない限り、失敗することはない。

まず、**目標を紙に書き、毎日それを真剣に考えることだ。意思が固まれば道は拓ける。**

★筋肉も気力を使うほどに弾力性がついてくる。

信念の道を辿れば、ひとつのことが明らかになってくる。信念とは道であり、道とは鍛錬である。

留まっているだけでは、筋肉はたるみ、体力が衰える。筋肉の弾力は失われやすい。

熱意を持って、絶えず鍛錬すれば、信念は強められる。

信念を養い、生き生きとした精神を持ち続けさせてくれるのは「情熱」と「感動」である。

信念は情熱の炎によって燃え、若々しいエネルギーによって高揚する。

信念の道を歩み続けるということは、情熱的でありたいという人間の生まれながらの願望を絶えず活性化することである。

故ダニエル・ポーリング博士は毎朝太陽に向かって「私は信じます」という言葉を繰り返された。

この鍛錬が、信念を強め、力と生命を私たちに与えてくれるのだ。

仕事は情熱と信念によって決まる。生きがいも情熱と信念によって決まる。

情熱を燃やし、信念を高めるのだ。

そこに人生の秘訣がある。

<MIKO>

□ 参考文献：Tough Minded Faith For Tender Hearted People by Robert H Schuller より